武雄会場｜佐賀県立宇宙科学館

武雄市武雄町大字永島16351
時間／[平日]9:15〜17:15 ［土・日・祝]9:15〜18:00
※展示休：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

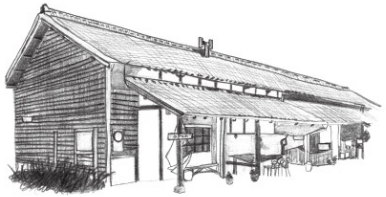
〈AQUARIUM by NAKED〉
- ネイキッド

『AQUARIUM by NAKED』は、すべての生命の源とされている熱水噴出孔が広がる深海世界を光で表現した作品。これまで新江ノ島水族館ナイトアクアリウム、大阪あべのキューズモールでのイルミネーション、グランメッセ熊本で開催された科学とアートの驚き体感ランド“SCIENCIA”をはじめ、全国各地で『AQUARIUM by NAKED』を展開をしてきました。今回は数ある作品ラインナップの中から、壁面がダイナミックに動きその奥に深海世界が覗く「Deep Sea -the Wall-」と光虫をイメージした生命の光と戯れることができるセンシング技術を使った「生命の波」の2作品を展示します。会場全体に広がる光で表現した神秘的な海の世界を是非全身でご体験ください。

Created by NAKED Inc.

波佐見会場｜モンネポルト

長崎県東彼杵郡波佐見町井石郷2187-4
時間／11:00〜18:00
※展示休：水曜日



〈Light_Seeing − 憶い出の憩うところ− 〉
- 飯盛雅子

平面作品（写真・シルクスクリーン・インクジェットプリンティング）にプロジェクション

昨年、深川製磁本店の展示［降る時　感光する記憶］では、海辺に深々と降る雪に時間そのものの存在を感じ、その光景を前に網膜の上に甦ってくる記憶・イメージで構成した映像作品を展示しました。今回は有明海の干潟をモチーフの一部としたデジタル写真・シルクスクリーンの平面作品の上にそこではないどこかのイメージを投影します。光の形たちは人々の憶い出たちのようにそこに憩う、それは私たちをこれからの［かたち］へと誘っているようです。
あわただしい日々のなかで、ふと立ちどまり目に映った［眺め］その中に過去から未来へとつながってゆく穏やかな想いの流れを感じて豊かな時を過ごしてください。

〈FUJI〉
- Joanie Lemercier（フランス）

〈Crystal City〉〈Jam Jar Fairies〉
- Davy and Kristin McGuire（イギリス）

「Crystal City」

「Jam Jar Fairies」

プロジェクションマッピングや映像アートにおける世界的パイオニアによる作品を紹介します。Joanie LemercierはAntiVJという世界で最も衝撃的なプロジェクションマッピング作品を作り続けるチームの創設者で、現在も世界中で映像やプログラミングによる素晴らしい作品を生み出し続けています。FUJIは2つの壁に描かれた富士山と竹林のグラフィックに映像投射し、幻想的な空間と物語が描き出されます。
Davy and Kristin McGuireは世界中が注目した「The Ice Book」というペーパークラフトを使ったプロジェクションマッピング作品のクリエイターです。日本初展示となる「Crystal City」は町のように並べられたガラスのオブジェに映像投射し、透過、反射した美しい光が不思議な世界を描き出します。「Jam Jar Fairies」はジャムのビンに「妖精」を閉じ込めてしまったファンタジックな作品で、気まぐれな妖精がたまに呼びかけます。「映像」という枠を飛び越え、これまでに見たことのない世界を体験させてください。

主催：佐賀県　共催：西日本新聞社、STSサガテレビ、LOVE FM　後援：有田町、有田観光協会、有田商工会議所
協力：深川製磁本店、手塚商店、アルセッド建築研究所、香蘭社、泉山磁石場、モンネポルト、佐賀航空宇宙科学館、佐賀大学地域環境コンテンツデザイン研究所、佐賀大学文化教育学部中村精鍛研究室、Arita Media Project、京都芸術センター
佐賀県　平成27年度　文化庁　文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

問合せ先：メディアバタフライ事務局（STSライフプロモーション内）0952-41-8341
佐賀県文化・スポーツ部文化課　0952-25-7236

Saga Media Arts Project 2015

Media Butterfly in Arita

2nd season

ひとひらの羽ばたきから
すべてがはじまる
ひとひらの羽ばたきから
五感が目覚める
ひとひらの羽ばたきから
アートの革命がはじまる
メディアバタフライ in 有田
ひとひらの羽ばたきから
メディアアートの世界が広がっていく

Created by NAKED Inc.

2015.10.31sat - 11.23mon　入場無料

長い歴史の中で「芸術・アート」は連綿と今日までつながり、それは絶えることなく人々にメッセージや刺激を与えてきました。そしてその進化や変化、多様性の拡張は加速をやめません。表現者たちはコンピュータやIT、様々な素材や機器を入手できるようになり、それを絵筆や粘土の様に自由に扱える「道具」としました。それは特別なものだけではなく、みなさんのごく身近にある存在です。パソコンはいまやどの家庭にも存在するようになり、誰でもインターネットを使います。こうした道具や情報による表現の変化・進化はこれまでのアートという既成概念の枠を破り、多様な表現フィールドを開拓し続けています。そしてその表現は多くの驚きや不思議な感覚を与えてくれます。

テレビ、スマートフォン、デジタルカメラ、プロジェクター、DVD、音楽プレイヤーなどの電化製品達、そして有田焼のような陶器や磁器もメディアであり、いまの表現技術はそれらを結びつけ、メディアアートとして新たな価値提供をしているのです。

クリエイター達は「日常」を疑い、物事を見る角度を変えた「視点」を大事に持っています。その視点こそがアイデアの源泉であり、多くの物を楽しむエッセンスになるのです。現代の社会においてなぜこうしたメディアアート表現が隆盛してきているのでしょう？ クリエイターは常にその時代や環境に左右され、その状況があるからこそ「何か」を生み出そうとします。今日、情報は過多になり、人と人とのコミュニケーションや社会での関係性というものが変化してきました。アートは今の社会の鏡として存在し、その中でもメディアアートでは双方向性や作品を通したコミュニケーションを重要視し、現代の社会と同じく大きなテーマとなっています。

私は高校時代をこの「有田」という町で過ごしました。この町の伝統と自然に包まれながら、感性を磨いてきました。この「有田」という町も1つの刺激的なメディアであり、先端クリエイター達の表現やツールと結びつくことを想像するだけでとてもワクワクしてきます。

みなさんはこのメディアバタフライ in 有田でどんな作品と対話するでしょう？ 一緒にワクワクしながらこの「有田」で「メディアアート」を体験して下さい。

メディアバタフライ in 有田 スーパーバイザー
プロジェクションマッピング協会 代表理事
石多 未知行

会場：
深川製磁本店　手塚商店　アルセッド建築研究所　香蘭社　泉山磁石場
武雄会場｜県立宇宙科学館（武雄市）　波佐見会場｜モンネポルト（長崎県波佐見町）
※展示休：月曜日（祝日除く）／モンネポルトの展示休は水曜日

スタンプラリー：
期間中、有田会場、武雄会場、波佐見会場の各会場をめぐるスタンプラリーを実施します。各会場に設置してあるスタンプを集め、各会場のBOXに投函すると抽選で素敵なプレゼントが当たります。

http://www.sagamb.jp/